

## 第2回運営協議会でのご意見に対する対応

NO.	協議会でのご意見	札幌市の対応
1	9ページの「PDCAを進める」は「回す」ではないか。	一般的にはPDCAを「回す」と言いますが、計画に掲載する表現としてはやや口語的であると考えられます。このため、「PDCAを機能させるよう取り組んできましたが、これが十分ではありませんでした。」との表現に修正することとします。
2	6ページ 図表3と4に年度ごとの実績値を記載してほしい。 R元年度までとそれ以降の対比でコロナの影響がわかるようになると思う。	資料編84～85ページに特定健診と特定保健指導の目標値と実績値の一覧表を追加することとします。
3	9ページ 「高すぎる目標数値があった」という記載。記載しないでほしいが、記載するのであれば、PDCAのマネジメントという範疇の話ではないので、7ページに記載したほうがおさまりが良い。	PDCAが機能していなかった理由の一つとして「高すぎる数値目標」があり、マネジメントの問題と判断しておりますので第2稿の表現のままとさせていただきます。
4	10ページ 「『軸』が明確となっていなかった」という記載。2018でも目的として「被保険者の生活習慣病の発症及び重症化を予防し、QOLの低下を防ぎ医療費の適正化を図る」と記されており、「明確となっていなかった」というのは誤りで「判断をまちがった」ということなのではないか。	保健事業プラン2018について「軸が明確ではなかった」と表現したのは、ねらいとして「QOL」と「医療費」を掲げていたにも関わらず、計画実行段階において、単に受診率などの数値が上がりそうだからとか、国から交付金を受けられる事業だからとか、本来の目的ではない観点に重きを置いてしまったということがあったためです。判断の問題ではなく認識の問題であり、今後我々が同じ轍を踏まないためにも、ここは第2稿の表現のままとします。
5	11ページ 最下部のフォローの記載。コンセプトの文言そのままとした方が分かりやすい。	図表7は、コンセプトの内容を具体的にどのように取り組むのかの方向性を記載したものですので修正は行わないこととします。
6	11ページ 「(2) 取組の方向性」という見出しだが、これは5ページの第2章のタイトルの方向性のことなのか？ そうではないと思う。 「方向性」ではなく「取組の区分」としてのチェックとフォローに分けるという記載のほうがわかりやすい。	第2章のタイトルの「方向性」とは、保健事業プラン2024を策定するにあたっての方向性であり、第2章の2の(2)だけのことでなく、1の(2)で述べている2018の振り返りを踏まえた2024の改善の方向性(8～10ページの青囲み)や、2の(1)のコンセプトなども含みます。この点は、お考えのとおりかと思っています。 保健事業プラン2024では、まずコンセプトを定めました。ここに保健事業を進めるにあたっての考え方を凝縮させています。冒頭の2行がチェックとフォローであり、これはまさに保健事業の取組の方向性にあたります。このため、ここは第2稿の表現のままとさせていただきます。 なお、「取組の区分」とのご提案は、このチェックとフォローに「取組項目」さらには「取組内容」がぶら下がる構図(43ページのとおり)となっていることからものと思いますが、コンセプトの中で語られた2つの方向性に「取組項目」、「取組内容」がぶら下がる形態であっても不自然ではないと考えます。
7	6～11ページ 第2章の構成について。1項の振り返りの中に、「『保健事業プラン2024』においては」として、それこそプラン2024の方向性についての内容が記載されている。 1項は「2018の振り返り」のみ、2項は「2024の方向性」として再整理した方が良い。	「保健事業プラン2018」の振り返りだけを記載し、「保健事業プラン2024」における改善点を別の項において説明した場合、それらのつながりがわかりづらくなってしまおうと考えております。このため、第2稿の表現のままとさせていただきます。

## 第2回運営協議会でのご意見に対する対応

NO.	協議会でのご意見	札幌市の対応
8	46ページ 数値目標は小数点以下は不要。切り良く丸めてほしい。	プラン全体として原則として小数点以下第1位までを記載していること、数値目標にかかる法定報告値も小数点以下第1位であること、また、今後の成果の達成率を確認するためには詳細な数値であることが望ましいことから、小数点以下第1位以下を丸めず修正はしないことといたします。
9	29ページ 3段落目の「併用禁忌服薬者の改善率が令和3年度に引き続き100.0%であったとは考えづらく」は、行政が作成する文章としては表現が適切ではないと思う。課題⑧の「改善されないケースがある」ということにつなげたいための文章であれば削除したほうが良いと思う。	ご意見のとおり、明確な検証結果ではない内容を記載しており、該当箇所がなくとも趣旨は通じることから「63.1%にとどまっていることからすると、勸奨しても改善に至っていないケースがあったものと判断しています。」と修正させていただきます。
10	29ページ 図表26で同じものを比較していないのに、統計上、R3とR4を折れ線グラフで結び付けてはいけない。棒グラフを使用するなどして「対象を拡大した」と付記書きを入れた方がいいのではないかな。	ご指摘を受けてグラフを棒グラフに修正しました。付記書きに関しては、結果として対象が拡大した事実を本文にて説明させていただいているため、あらためてグラフに「対象を拡大した」などの記載はしないことといたしました。
11	95ページ 「特定健診受診者数:52,592人」は誤りではないか。 111ページ 「どんなきっかけがあれば、(より強く)とくとく健診を受診しようと思えますか。」の選択肢が対応していない。	ご指摘事項を含め、第3稿の97ページ、113ページのとおり修正します。